

	2002 年度冬学期 シケプリプロジェクト報告書	
--	---	--

2003 年 2 月 25 日
環境三四郎
キャンパスエコロジー活動

1、シケプリプロジェクトとは

自分達のキャンパスの環境改善のため、環境三四郎のプロジェクトの一つ「キャンパスエコロジー活動」の一環として、97 年から始められたプロジェクトである。シケプリプロジェクト発足からの詳しい経緯などは、「1998 年度 シケプリプロジェクト報告書」を参照されたい。

今年で 6 年目を迎えるこのプロジェクトも、今ではすっかり東大の試験期間中の風物詩となり、東大内で三四郎を代表する活動の一つとなっている。

本報告書では、2003 年度冬学期に行ったシケプリ回収の報告を行う。

2、回収期間

2003 年 2 月 4 日～2 月 17 日（教養学部総合科目試験期間）

3、回収方法

段ボール箱を使って作った「シケプリ回収 BOX(以下、回収箱と略記)」をポスターと一緒に随所に設置し、不要になったシケプリを入れてもらう旨の各種広報を行うことで回収を行った。詳細は後述。

例年は裏紙として利用する事も考え「片面刷り」「両面刷り」と分けて回収を行っていたが、今回は一般学生が分別する手間を考え、全て一つの回収箱で行った。

回収箱作成、設置、片付けは全て三四郎が管轄機関に許可を貰って行った。

4、回収場所

回収箱を設置した場所は以下の通り。合計で 10 個の回収箱を設置した。

- ・ 1、5、7、11、12、13 号館入り口付近(11 号館のみ 2 つ設置)
- ・ 図書館入り口付近
- ・ 生協食堂出口付近(各階 1 つ。計 2 つ)



回収箱の様子

5、回収した紙類の処理

集めた紙類は全て、一時的に 1 号館裏の紙倉庫に保管した後、教養学部と同様のリサイクルルートに回していただいた。

尚、教養学部が行っている紙のリサイクルとは、情報棟、事務棟、研究棟に設置されているリサイクルボックスに入れられた物を対象としており、普段前期過程学生が利用しているゴミ箱やクリーンボックスに入れられた紙は可燃ごみとして処理されている。

具体的業者名は以下の通り。

1 号館紙倉庫

(株)ハッピー倉庫運輸 < 収集運搬 >

豊岡産業(有)

セツソ(株)

(『駒場環境総合調査プロジェクト～KEEP～』より)

6、広報方法

本企画の認知度を高め、より多くの学生に協力してもらえるように、以下の広報を行った。

- ・回収箱へのポスター貼付(下図参照)
- ・回収箱付近の壁へのポスター貼付(下図参照)
- ・携帯電話用のメールで知人に転送

<メール本文>

シケプリ回収のお知らせ

環境三四郎では、今年もテスト期間の風物詩「シケプリ回収」を2/4~2/17に行います。一回の定期試験で数十万枚作られるシケプリ、その紙資源の有効利用のため不要になったシケプリやノートはゴミ箱ではなく、各講義棟や図書館、食堂などの入口にある「シケプリ回収ボックス」に入れて下さい。ご理解ご協力の程よろしくお祈いします。また、どうか回収箱には他のゴミを入れたり手荒に扱ったりしないで下さい。

尚、このメールはクラスやサークルのMLの他、友人や知人に転送して頂けると幸いです。

- ・東大生向け情報サイト「All today」に紹介文掲載

<紹介文>

シケプリ回収のお知らせ

環境サークル『環境三四郎』では、今年もテスト期間の風物詩「シケプリ回収」を2/4~2/17に行います。

一回の定期試験で約百万枚近く作られると言われる所謂「シケプリ」、それらを全て可燃ゴミにしてしまうのは紙がもったいないですね。

不要になった各種プリントやノートのコピーはゴミ箱ではなく、構内にある『シケプリ回収ボックス』に入れて下さい。

回収されたプリント類は片面印刷と両面印刷に分別され、リサイクル業者に引き取られる他、裏紙として利用されます。

今回の回収箱設置箇所は、各講義棟入口、図書館入口、生協食堂です。

また、シケプリ作成等に際しては、極力両面印刷をするように心がけてください。紙資源の有効利用と構内美化のため、ご理解ご協力の程よろしくお祈いします。

また、期間中はダンボール製の回収箱を見かける事になると思いますが、どうかこの回収箱には他のゴミを入れたり手荒に扱ったりしないで下さい。

各種お問い合わせは以下までお祈いします

『環境三四郎』

URL: <http://www.sanshiro.ne.jp/>
MAIL: info@sanshiro.ne.jp
企画責任者：桐生朋文



回収箱に貼ったポスター



壁に貼ったポスター

7、回収結果

最終日の午後にメンバー数人で回収箱の撤収を行い、回収できた紙類の計量を行った。計量結果は以下の通り。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| • 1号館：5.1kg | • 5号館：4.7kg | • 7号館：7.8kg |
| • 11号館：8.2kg | • 12号館：1.9kg | • 13号館：4.7kg |
| • 食堂：1.1kg | • 図書館：11.2kg | 合計：44.7kg |



計量風景

8、反省

動き出しが非常に遅くなってしまい、計画を始めたのが1月後半であった。そのため十分な話し合いの上で企画を進めることが出来ず、過去に行ってきたことを辿っただけという感覚は拭い切れない。

回収した紙の処理についても、夏学期は片面印刷の物は裏紙として利用する事にしてきたが、今回は一般学生の手間を考慮して分別回収を行わなかった事に加えて、三四郎内に裏紙のストックが大量にあったため、全てをリサイクルに回す事にしてしまった。Reduce, Reuse, Recycle という順序を考えれば、他団体に寄付するなどして再使用できる分についてはするべきだったと思う。

また、広報方法についてもいくつか反省すべき点がある。先ず、前回に引き続き行った携帯電話での所謂「チェーンメール作戦」であるが、学生一人一人に直接広報文を送るという方法は受け取って嫌悪感を抱く人もいると考えられるため、代替案を考える必要がある。比べて、今回から行った「All today」での紹介は、情報の発信方法に公平性がある上、テスト期間中は相当数の学生が利用するため効果があったと考えられる。また回収箱の設置箇所についても、床に直接置いてあるため低い位置にあり、あまり目立たない上に印象が良くなかったという意見も聞かれた。今後は、もう少し高い位置に設置できるような工夫も必要と考えられる。

今後の展望として、ただ回収を行うだけでなく、具体的にどのような方法でリサイクルされているのか、なぜシケプリプロジェクトを行うのかなどの情報も併せて発信していければと思う。